

本特集の趣旨

経済学部 2014 年度研究企画・地域貢献委員会
伊藤 修，齋藤友之，末松栄一郎

本特集は、学生会員のみなさんを主な対象とする「社会科学への招待」です。

本誌『社会科学論集』は、埼玉大学経済学会—教員，学生，卒業生，その他の会員からなる—の機関誌として、厳格な審査を受けた研究論文を掲載し、会員，学界，ひいては広く社会に研究成果を提供しています。われわれ経済学部研究企画・地域貢献委員会は、そのうち年度1冊に、新入生をはじめとする学生会員を対象として、学問への招待特集を載せることにしました。

本学経済学部は、経済，経営，法律，行政・公共政策という各分野を包含する広さをもっていますので、「社会科学への招待」ということになります。年によっては、特定のテーマを設定して特集を組むこともよいでしょう。

本号では、上記4つの分野ごと、経済分野は李潔先生に「GDP小論—その基礎から日中推計比較まで—」、経営分野からは水村典弘先生に「ビジネスとプロフェッショナリズム」、法律分野は三宅雄彦先生に「法学への招待」、公共政策分野では環境問題専攻の外岡豊先生に「持続可能性とSunstainableを巡って」を執筆いただきました。ご執筆の先生方には御礼を申し上げます。

学生会員のみなさんには、この特集を活用して、先端の学問研究の世界にどんどん入ってきてもらいたい、本誌に掲載される専門論文も読んで積極的に議論してほしいと願っています。学問研究が進められ、学生も含めて活発に議論される、大学のキャンパスとはそういう場であり、そうでなければならないと考えるからです。